

J R C S 株式会社（山口県下関市）

事業所内託児所の設置は県内でも数少ない

先進的な取り組みで 会社に対する誇りと 絆を強めていく



ワーク・ライフバランス推進の一環として、社員の家族を招待する「家族参観日」を開催している。家族に職場や働く姿を見てもらい、仕事への理解を深めてもらうこと、そして社員には、仕事に対する誇りや働きがいを再認識してもらうことを目的としたイベント。

会社の姿勢

ダイバーシティを経営目標に女性活躍を推進

ダイバーシティという言葉が生まれるずっと以前、約20年前から、総合職の女性採用、高卒社員の総合職へのコース転換、外国人の採用など、ダイバーシティを重視した能力主義の人事制度を実施してきた。また、階層別・テーマ別に計画された研修プログラムや、「自律型人材」を目指す自己啓発支援など、キャリア形成のための各種制度も充実させてきた。

J R C Sの女性従業員の割合は40%程度だが、一般職や契約社員が多く、管理職や総合職の割合は高くない。そこで、平成28年の女性活躍推進法による行動計画では、女性管理職は4名で管理職に占める女性の割合は9%から11%に、また総合職に占める女性の割合は10%程度から12%にすることを目標としている。



山口県内初の事業所内託児所「ラッコランド」は、最大11人の乳幼児を預かることができる。ひな祭りやクリスマスなどのイベントも多数開催しており、社員のみならず、子ども同士の絆も強まっている。

社内環境

託児所を始め、女性が働きやすい環境を整備

平成20年4月から、事業所内託児所「ラッコランド」を社員食堂の隣に設置し、従業員が出産後も働きやすい職場環境を整えてきた。また、すべての年次有給休暇を1時間単位で取得できる他、法を超えた育児・介護のための短時間勤務・時差出勤制度を整えるなど、両立支援策に取り組んできた。

こうした事業所内託児所や各種支援制度により、特に女性従業員が出産後も安心して子育てをしながら仕事に専念でき、着実にキャリアを積み重ねている。

今後は、在宅勤務や時短勤務、遠隔地勤務など新しい働き方を試しながら、従業員の負担軽減と成果向上を両立させるべく、働き方改革を模索していきたいと考えている。



子どもができたとき、育児のために退職も考えましたが、育児休業や託児所など会社の諸制度の充実と職場の周りの社員の理解により、キャリアを継続することができました。(30代、女性)

取り組んでいる会社の概要

J R C S 株式会社

代表者：近藤高一郎（代表取締役社長）
所在地：山口県下関市東大和町1-2-14
資本金：2,000万円
事業内容：新造船事業、ソリューション事業、
新規事業
従業員数：459名

（平成29年8月時点）